

事前評価調書

I 事業概要																			
事業名	農業農村整備事業（防災ダム事業）																		
地区名	きりばたいけ 切畑池地区																		
事業箇所	めかたぐんこうたちょうおおあさふこうず 額田郡幸田町大字深溝																		
事業のあらまし	<p>本地区は額田郡幸田町の南部に位置し、切畑池は地域の重要なかんがい用水源であるとともに、防災重点農業用ため池に指定されている。本施設は、1992年から1995年に改修が行われているが、取水施設の耐震性不足、緊急放流能力不足、及び洪水吐の流下能力不足が確認された。</p> <p>このため、早急に地震対策及び豪雨対策を行い、ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p>																		
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <p>（基準雨量：146.50mm/時間、既往最大雨量）</p>																		
事業費	事業費		内訳																
	1.8億円		■工事費 1.6億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.1億円																
事業期間	採択予定年度	2024年度	着工予定年度	2025年度	完成予定年度	2028年度													
事業内容	洪水吐工、取水施設工（緊急放流施設付） 各一式																		
II 評価																			
①事業の必要性	1) 必要性	<p>切畑池は、取水施設の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足により、地震時・豪雨時に決壊する恐れがある。</p> <p>このため、洪水吐等の改修や緊急放流施設の設置により、ため池の決壊を未然に防ぎ、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図る。</p> <table border="1" data-bbox="413 1272 900 1442"> <thead> <tr> <th></th> <th>必要能力</th> <th></th> <th>切畑池</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">洪水吐の改修</td> <td rowspan="2">設計排水量 6.691m³/s以上</td> <td>現況</td> <td>4.792</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>6.697</td> </tr> <tr> <td>緊急放流施設の整備</td> <td>放流時間 24h以内</td> <td>計画</td> <td>新設</td> </tr> </tbody> </table> <p>新たな土地改良の効果算定マニュアル（農林水産省農村振興局整備部監修）に基づき算定したB/Cは8.3で1.0を越えている。</p> <p>また、決壊した場合に人的被害を与える恐れのあるため池の防災工事等の推進を目的とした、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき作成する「防災工事等推進計画」に位置付けた事業である。</p>					必要能力		切畑池	洪水吐の改修	設計排水量 6.691m ³ /s以上	現況	4.792	計画	6.697	緊急放流施設の整備	放流時間 24h以内	計画	新設
		必要能力		切畑池															
洪水吐の改修	設計排水量 6.691m ³ /s以上	現況	4.792																
		計画	6.697																
緊急放流施設の整備	放流時間 24h以内	計画	新設																
判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>取水施設、洪水吐の改修、緊急放流施設の設置を行うことにより、ため池決壊による農地、農業用施設、人家等への被害を未然に防止する必要がある。</p>																	

②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・洪水吐工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・取水施設工</td> <td></td> <td>←→</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">1.8</td> </tr> </tbody> </table>							2024	2025	2026	2027	2028	工種 区分	調査・設計	←→					用地補償		←→			→	工事						・洪水吐工				←→	→		・取水施設工		←→	→			事業費（億円）		1.8				
			2024	2025	2026	2027	2028																																													
	工種 区分	調査・設計	←→																																																	
		用地補償		←→			→																																													
工事																																																				
・洪水吐工					←→	→																																														
	・取水施設工		←→	→																																																
事業費（億円）		1.8																																																		
2) 地元の合意形成	地元からの申請事業であり、事前に地元関係者への説明などを行っており、合意形成は図られている。																																																			
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。																																																		
	【理由】	地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。																																																		
Ⅲ 対応方針（案）																																																				
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																																																			
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																				
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 事業後の決壊被害の有無を確認 ※事業完了後5年以内に計画規模と同等の地震及び降雨が発生した場合、その地震及び降雨により評価する。 事業完了後5年以内に計画規模と同等の地震及び降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の地震及び降雨により評価する。																																																				